

日蓮宗 常栄山 本照寺だより

謹賀新年



12月10日(日)「年末大掃除ボランティア」に集まってくさった皆さん、ありがとうございました!! (90%ビニル袋は40袋となりました!)

第102号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所 本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438
honshou49@softbank.jp

新しい年になりました。よい習慣を取り入れてみるのはいかがでしょうか。

仏道修行の入口は「戒を保つこと」で、その大元の意味は心を安らかにする「よい習慣」のことです。習慣といえは、僧侶は毎日お経を唱えていますね。私は毎朝6時頃にお経を読み、その善い行いで生じたはたらきにより、檀家さん・信者さんや、そのご先祖さん、全てのいのちが安らかになるよう祈っております。体調・仕事の都合による変更はありますが、基本は1時間くらい日替わりで様々なお経を読んでいます。仏教の修行は、他者の幸せを祈りながら自らの心も浄め

一緒に朝のお経を唱えませんか

るものから、この毎朝のお経のおかげで、私は一日を安らかにスタートすることができているのです。そして、このお経はどなたでも参加いただけます。お経を聞いて穏やかな気持ちになりたい、一緒にお経を唱えたいという方は、どうぞお参りください。長すぎるなあという方は途中退出も自由です！また、継続的には難しいですが、事前にご相談いただいた日程について、時間帯の変更も検討します(朝4時半〜7時頃)。ご希望のある方は、ご相談ください。

■日程 毎朝6時頃〜1時間程度 ※日程によって変動あり
■会場 本照寺本堂
■参加いただける方 どなたでも。お経中に静かに座っていただける方であれば、小学生でも参加いただけます。
■内容 読経。要望があれば唱題行(南無妙法蓮華経と一心に唱える修行)も可能です。
■持ち物 冷暖房を使用しないため、冬季は温かい格好、夏季は涼しい格好。イスもありますが、正座をする方は下半身がゆつたりした服装
■申込 不要ですが、確実に参加したい方は電話・メールなどで事前にお問い合わせください。

副住職のコーナー



お線香にもまごころを込めて



ご埋葬 おまかせください

字配代 38,000円 税込
埋葬料 11,000円 税込
浦掃・拜石メジ含みまろ

本照寺様 出入り石材店

株式会社イシックス

■平塚店 平塚市四之宮2-24-31
■小田原店 小田原市扇町1-25-21-201

☎0120-011140

isix.jp

令和6年 明けましておめでとうございます
本年もよろしく お願い申し上げます
須藤教裕 (きょうゆう・65)
貴裕 (きゆう・39)
由子 (よしこ・37)
慧磨 (けいま・8)
燈 (あかり・6)



朝の切符 人生の切符 茨城県結城市 小林清子 58

この世で自分で買うのなかなかだからみんな知らず知らず頑張っているのかなあ 良い指定席を取るために

子供の世界 千葉県山武市 藤田英子 73

その娘も今は2児の母 孫娘がかたつむりを 見つけたので これがお家だよと 殻を指したところ ドアはどこかと 聞かれて困った

「反〇〇から脱皮し代案を」

新潟県加茂市・大学生 西邑友里 21

▼過日、「私は反戦運動には参加しません。平和のための活動なら参加します」というマザー・テレサの言葉を知った。なぜ「反戦運動」は良くなって、「平和のための運動」なら良いのか。その2つにどういう違いがあるのかを考えてみた。

▼私は、「反戦」では反戦運動者と、戦争で戦わざるをえない人たちとの「戦い」になってしまっているからではないか、と思う。この「反戦」は、あらゆる「反〇〇」にも言えることではないだろうか。例えば「原発」では、原発が必要な人々との戦いになる。原発に反対するならば、「こういう方法で(エネルギーは)節電しよう」「こんな方法で新しいエネルギーを作り出そう」などと代案を主張すべきだ。「反〇〇」からは争いが生まれるばかりだ。▼デモに参加する人たちのエネルギーが、もっと建設的なものであれば、日本は現在の沈滞ムードから早く脱皮できると思う。(産経新聞・談話室)

■「怨(うら)みに報いるに、怨みを以てしたならば、ついに怨みの息(き)を、むことがない。怒みを捨ててこそ息む」とは、戦後のサンフランシスコ講和会議で、スリランカ代表が釈尊の言葉引用した発言として有名。また、ジョン・レノンには「暴力には暴力しか生まれぬ」とも。

名からの解放

真理の言葉
仏典のこころ

名が全てを支配した。この世において名より大きなものは存在しない。名というただひとつのものに、一切が従属した。

(初期仏教経典・サンユッタ・ニカーヤ)

名からの解放

■下田正弘・東京大学大学院卒業。文学博士。東京大学教授。専攻はインド学、仏教学。著書多数。66歳。

病死 事故死 他殺 自死

■名はなかったものをあつめるものにする。いったん名を

仏さまの智慧

無分別智

仏さまの智慧

◆ひろさちや・東京大学卒業。宗教評論家。仏教思想家。著書多数。令和4年、85歳死去。

「もう気が済んだやろ」

◆幼稚園で2人の園児が喧嘩をしています。何が原因で喧嘩になったのか、よく分かりません。年長組の子どもが、しばらく

得たものは、すがたが見えずとも、声が聞こえずとも、触れることができずとも、意味として存在し始める。人間の世界に宿命的ともいえるこのできごとは、まことに重い。 ■たとえば、だれかが亡くなったとき、そのできごとをめぐって人は理由を求めようとする。病であった、事故であった、殺められた、みずか

自分の身の上に忌まわしい病の名を告げられたとき、これからの人生のすべてが、その名のもとに支配されてしまう

この年長さんが、なかなか素晴らしいのです。彼は、そのように、年下の子どもに教えたのです。そして、この年長さんは、仏教学者です。



くそれを黙って見ていて、それから2人に言いました。「もう気がすんだやろ。喧嘩をやめて、仲良く遊びな」 「うん」 2人は口をそろえて答えて、何事もなかったかのように仲良く遊びはじめました。幼稚園で、ときどき見かける風景です。 ◆この年長さんが、なかなか素晴らしいのです。これだけ大人は駄目ですねえ。これが幼稚園の先生だと、たい

き、その名の出現とともに、これまでの人生とこれからの人生のすべてが、その名のもとに支配されてしまう。人はこの支配からの自由を、栄えある名を求め、それと代替することによって実現しようとする。快方、快癒、健康、或いは名誉、権力。この栄光に添うものとして希求される。だがこれは、名からの解放ではない。その支配下にあることの名に証左である。

◆前期高齢者65歳。昨年、私もその一員となった。この「前期」「後期」との区別、そして命名はWHO（世界保健機関）による決定だ。だが、実に言い得て妙である。即ち、65歳を境にして体力がガクンと落ち、更に臓器機能の低下、抵抗力・回復力の低下、重篤化しやすい……正にきりが無い。私個人として痛切に感じるのは「回復力の低下」であるが、ここで愚痴や不満を言うつもりは無く、良くここまで頑張ってくれた、と、御礼を申し上げたい。 ■75歳以上の後期高齢者の「思い」は察するしかないが、何れにしても「年寄り笑うな行く道だもの」なのであると共に、「いよいよ来たな」なのである。それを実感する場として、「葬儀の施主が皆、年下になった」こと。正に「順番」である。 ■「今や早死にの危険は減ったけれど、長生きの危険が高まっています」との医師による言葉を前号で紹介したが、お互い、心したいものだ。社会から「必要とされる自分」が難しいのであれば、こちらから社会の「お役に立つ自分」であれば可能はずであり、「長生きの危険」も減ることだろう。

編集後記

◆前期高齢者65歳。昨年、私もその一員となった。この「前期」「後期」との区別、そして命名はWHO（世界保健機関）による決定だ。だが、実に言い得て妙である。即ち、65歳を境にして体力がガクンと落ち、更に臓器機能の低下、抵抗力・回復力の低下、重篤化しやすい……正にきりが無い。私個人として痛切に感じるのは「回復力の低下」であるが、ここで愚痴や不満を言うつもりは無く、良くここまで頑張ってくれた、と、御礼を申し上げたい。 ■75歳以上の後期高齢者の「思い」は察するしかないが、何れにしても「年寄り笑うな行く道だもの」なのであると共に、「いよいよ来たな」なのである。それを実感する場として、「葬儀の施主が皆、年下になった」こと。正に「順番」である。 ■「今や早死にの危険は減ったけれど、長生きの危険が高まっています」との医師による言葉を前号で紹介したが、お互い、心したいものだ。社会から「必要とされる自分」が難しいのであれば、こちらから社会の「お役に立つ自分」であれば可能はずであり、「長生きの危険」も減ることだろう。

◆年長さんは本能的に、そのことを知っているのです。だから彼は、「気がすんだやろ」と言います。 「どちらが悪いんでもない。いつまで喧嘩をしてもいい。いつまで喧嘩をしてもいい。解決できるわけではない。それなら、もう喧嘩をやめて仲良く遊びなさい。」 彼は、そのように、年下の子どもに教えたのです。

そして、この年長さんは、仏教学者です。わたしはそう思います。 なぜなら、仏教では、 「無分別智（むぶんべつち）」を教えているからです。 これは分別しない智慧であり、仏さまの智慧なんです。 わたしたち人間の智慧は、分別智（ぶんべつち）です。こちらのほうは、いい／悪いを分別してしまふ智慧です。いい／悪いにこだわっている智慧です。 ◆私たちは、たいていの場合、この分別智を働かせてしまふのです。 幼稚園の先生は喧嘩をしていて2人のどちらが悪いのかにこだわり、悪いほうを謝罪せねばならないと思っ